

サーフィンライファー先達からの教え I - 1

—オーガスティン司教10項の説教を元にした
CLの教え—

David K. Reynolds, Ph.D.



はじめに

ここでは読者の皆さんの心をしばらくお借りしたいと思えます。以下の文にはすでに皆さんの心をよぎった内容がいくつもあるかもしれませんが、常識的なこととそうでないことを目にされるかもしれませんが、はっきりとわかる意味と同じように、言葉の奥にある意味を調べて確かめてください。文言も借りものです。

説教(一)

不完全で完璧になれないのに支えられている

私（レイノルズ先生）が理解する人生について言葉で読者に伝えます。皆さんとの理解を確かめて、同じ見方を共有するでしょう。

完全、完璧とは、全く間違いがないという定義です。しかし、あなたと私は不完全という共通点があります。したいことなら何でもでき、望むようになれると言うのは嘘です。不完全というのは、当然限界を伴います。

自分をごまかさなさい。私たちは皆時々間違っていて、ときどき悪く、迷惑をかけます。この真実を皆さんも知っています。それなのに何かが私たちの罪深い時をわからせようとし、落ち度があっても回りの環境は支援し続けてくれます。私たちは何をすべきか知っていても、いつもそうするわけではありません。でも、そういう不完全な傾向は言い訳にはなりません。するかしないかですから。

お礼をしそこなったり、しくじったり、していただいていることに気づかなかったりしても、事実は私たちのためにトラックが店舗に商品を配達してくれ、製造業者がストーブや自動車を作り、電気を送ってくれ、収入が手に入り、たくさんの人たちが、健康の維持に答えてくれます。

今こそたくさんの借りを知って返済し始める時です。高速道路を運転する際にはトラック運転手さんへの借りを考えてください。電気を点けたり消したりするときに、電気への借りを考えてください。一日の仕事を終えたら会社への負債を考えてください。

言葉を行動と目で確かめる

自分の行動に基づいた実際の経験は信頼できます。言葉は滑りやすく、時には暗くて陰気な空想に滑り落ちます。事実は少なくともあなたが今までここにいた限り、その時間ここにありました。事実そのものはあなたの注意と敬意に値します。事実すべてが好きにならなくてもいいし、すべてを理解する必要はありません。どうあっても事実はあなたのために、具体的にここにいます。事実に気づかないあなたを救い出すために詳細な形で現われ続けます。あなたを気づかせる事実の救済を言葉に訳

すと事実から遠のきます。細かい事実でなければ事実として存在しません。しかし、事実はどうあっても消えません。（眠っているときは…？）。

事実に注意を向けることは、実際に事実を確かめ続けることです。でも事実はあなたが想像でつくったものではなく、私たちへの贈り物です。一瞬、一瞬つくられる事実を目で見て確かめます。見ることで一つの実事を知ります。

解釈や想像力で太陽に何かを加えてラベルを貼ったとしても、太陽という事実は地球を暖めて、照らし続ける存在です。太陽の起源と存在を説明するとしても、暖かさと光の恩恵を受け続けます。空にある燃える物体を「たいよう」という文字でつなげても、「たいよう」は暖かくしてくれないでしょう。事実（太陽）が暖めてくれます。

ですから、事実もあなたを確かめ続けるのです。あなたは自分がつくったのではありません。あなたは自分への贈り物です。事実があなたの目撃者です。あなたが話すとき、他の人たちがあなたを見ます。他の人たちがあなたを名前呼びます。椅子や衣類、出入り口があなたの身体の大きさを決めます。あなたは一瞬、一瞬事実によって組み建てられているのです。

人生はあなたと事実との交わり、照らし合わせ合う、事実との統合です。自分の見方（ソロ）だけの人生と事実と自分の見方が交わった（デュエット）人生ダンスです。

充実した人生ダンスの経験を知って感謝していても、常に満足で悩みがないわけではありません。不安や恐れ、怒りと悲しみの時があるのは不完全な私たちには自然なことです。さざなみのない平和は生きているものにふさわしくありません。欲求は苦しみと刺激の両方を、夢は痛みと希望の両方を、貧困は自由と限界の両方をつくります。富もそうです。いっしょになることは離れる可能性をつくります。悩みはだめなことでもなく、いいことでもありません。変化は起き続けます。

触れた事実は否定できません。毎日事実にぶつかります。事実はあなたに事実自身を確認させます。なんと親切な！事実に直接触れずに言葉で広げてしまうのは望遠鏡で見る指のようです。ときどき言葉の指のなにが正しいか、違うか、確認するのは良いですね。言葉は、あいまいで実際とは違うイメージを送ります。その言葉を繰り返し使うと意味が薄くなって、言葉で事実を確かめられなくなるかもしれません。行動で自分と事実を確かめてください。目の前のテーブルを行動で叩くとテーブルと自分という事実が確かめられます。

過去は消え、今があります。過去はどんどん後になります。思い出はラッカーで塗られた考えで事実を覆うのに役立ちます。幸いに、私たちはラッカーの品質と話し言葉の選択を持っています。過去を明るくも暗くも演出でき、輝く場面に置き換えることができます。言葉の指で塗り替え、塗り替え…。

事実はあなたのために教えを持ち、あなたのためにメッセージを持っているのです。時々あなたは速く学ぶときもあれば、まったく学ばないときもあります。最近学んだのは何ですか？ 借りものの心の探知機で、借りものの事実の合図で、借りものの環境を掃いて、情報のごく一部の意味を理解します。そして、自分の集中のなさを環境のせいにして、なにか役立つことを手にすると自分の力のせいにします。すべて借りものです。

限界のある目から無限を視る

「日々即好日」は「毎日が借りた日」という意味です。私たちはあふれんばかりの大量の教えからわずかな情報をつまみ、最高点の評価とみなします。私たちは針の穴の目を見たことを事実として精巧な説明や解釈の絵を描きます。限界のある目は無限が見えません；限られた心は無限を理解しません。無限はただの言葉に過ぎません。自分が見た事実の部分だけで事実を説明しようとしません。

自分の心が小さな目で見ると心だと認識したら偉いでしょうか。限界を認めたら自力で自分を限界の外に出せますか。とんでもない。私たちは外からでなく、自分の考え（想像）で無限の境目を見えています。

それでも自分の限界を認める誇りを見出すことができます。境界を持つのは恥ずかしいことではありません。自分が持っている言葉がすべてです。ですから「あなたは何でもできます！」と約束する人は嘘つきです。真実はもっと狭いですが、真実は真実です。

行動を変えるのがなによりの道、変えなくても…

他の人が考えるように考えるのは不可能です。けれども行動が集中するように、考えも一つに集まります。他の人の考えについて今まで学んできた推測ができます。が、推測はあくまで推測です。他の人たちがなぜそうするのかはだれもわからないのが事実です。

宗教、心理学、法律の専門家が、人が考えていることや感じていることをわかっていると信じるのは子供っぽくばかっています。このような専門家はさらに「本当の」感情と考えにふれることができると信じているのもまったくばかっています。人が今感じていないことは、感じていないのです。今考えていないことも考えていません。成長すべきです！

ではどうやって自分を成長させるのでしょうか。一番はっきりとした近道は行動を変えることです。考えと感情は月の満ち欠けの潮のように行動に続くものです。「行動を変えたい意欲はどこから来るか？」「行動を変えるためのエネルギーと動機づけはどこから来るか？」「自分をどうすれば行動を変えるようにさせられる？」と質問してもいいですよ。

でも、一番簡単な答えは誰もわからないということです。ただ行動を変えるだけなのです。後で、自分とか他の人がなぜそうしたかについて、想像した話をつくりあげます。気をつけて！想像話の作成に巻き込まれないようあらかじめ注意してください。その話をする人は、必ずしも行動を変えることなく、話を伝えるのが上手になります。

耳寄りな教えとして、行動を改善してもしなくても世界は私たちがケアし続けてくれることです。吸う空気、食物、眠り、避難所をいただいています。世界は規則正しい順番で答えてくれます。普通、私たちの行動に答える事実の答えはもっともな予測ができます。自分が良い時もだめなときも椅子は支えてくれ、ペンが書いてくれ、コップは水をためてくれ、電気が明るくしてくれ、衣服は私たちが包んでくれます。そのことに気づかなくとも、自分が支えられるほどの人間でなくても、お礼をしなくても、感謝を感じなくても、一瞬、一瞬支援されている事実があるのです。

(アメリカ・オレゴン州CLセンター所長)

 [目次へ戻る](#)